

紙芝居 (3月11日)



今年の紙芝居が好評だった。昨年同様ボランティアさんに来ていただきました。声に張りがあり、強弱もあり、皆さん絵の中に引き込まれていきます。やまばの話し「おっかないね〜」と隣の方に話しかけたり、「これはいいね〜」

ハーモニカ演奏 (3月16日)

昨年に続きハーモニカのお姉さんがやってきてリズムカルな音色を披露してくれました。皆さんとても真剣なまなざしで見られ笑顔で拍手「すごいですね！」と嬉しそうに話されていました。あとから感想を聞くと「良かったよ！」とニコニコされ「夜桜お七がよかった。自分も昔はハーモニカ吹いたよ、今吹けるんだべか〜・・・」と話されていました。入居者様の中には人見知りの方もいて、会場に人が集まってくると部屋に戻られていましたが、ベットで横になりながら足でリズムを取られていました。聞きなれた音色はとても体に馴染んでいるようです。



体操レッスン (3月24日)



要介護の方でも楽しく体を動かすことができる体操を教えてくださいました。普段はラジオ体操を毎日していますが、この日はポンポンやキラキラボタンを持って手を上に上げたり下げたり広げたりと、皆さんうまく乗せられて生き生き楽しく体操をされました。合わせて歌も歌いながら体を動かし「元気！元気！」と言って行っていました。クイズもあり「はい！」と気持ちよく手を挙げられ答えていました。始まる前は「できるかな？端っこの方で見るかな」と言っていた方でも、終わりに「もっと難しい体操かと思ったよ！」「いいね！体操かしたら気持ちいいね！」と話されていました。

そば打ち (3月25日)



早川澄雄さんがまたそばを打ちに花に来てくれました。手慣れもので短時間でサササと粉を混ぜてスルスとそばを打つ姿は、入居者様をはじめ見ている方を「ほー」と納得させ、「私も打てるよ！」と打てそうな気持ちにさせるのは、やはりすごいことと感じます。今回のそばは、掛けそばと蕎麦実の

入った稲荷寿司、デザートに清美オレンジと埼玉の最中です。そばはとてもシンプルな掛けそばながら評判は上々です。そばの上に茎の付いた長い三つ葉をゆでて添え、出汁のきいた汁を掛けたそばが三つ葉の茎と絡み、とてもさっぱりした良い味が伝わってきます。「これ気に入った！」「おいしいよ、食べやすいね！」と入居者様も気に入っています。「うまいな〜うまいぞ〜」と言った後は、黙々と食べていました。おかわりのために「いいんか！もっとくれ！」と言い、食べ終わると「うまかったな〜」と満足され、椅子から動きたくないようでした。澄雄さんのお母さんも息子さんの存在に気が

付くと「あら〜よう来た！」と大変喜ばれ、そば打ちの姿を見つめていました。この日は娘さんご家族様もいらしたので孫さん曾孫さんも来られとても良いふれあいになったようです。どの方もお腹もいっぱいになった気持ちの良い満足した一日になったようです。

雑祭り&フルーツ演奏 (3月3日)



施設長コラム この頃は、旬な食べ物は何かと聞かれてもピンと来ない時代ですが、魚野菜果物など食べ物は色々あれど、牡丹餅も旬な食べ物なのかと考えながらふと昔を思い出しておりました。小さい時は何でもかきお菓子のあんこが一緒なんだと納得がいかず、変な食べ物が世の中にあるもの

の思いさほど好きでもありませんでしたが、甘いものが食べたくて牡丹餅を食べていた記憶があります。昔から小豆の赤色は災難から身を守る云われもあり、この小豆を使い手まめな入居者様とスタッフが毎年お彼岸に牡丹餅を作ってくれます。先日のお彼岸には、入居者様が赤

飯をつぶして赤い中身の牡丹餅を作ってくれました。「あつたかいご飯は、あんこが付きづらくて大変なんだよ！」と言いつつも丁寧につぶしてくれました。私を含めお彼岸の楽しみやおやつとなっています。もちろん牡丹餅を食べる習慣同様、お彼岸にはご先祖様のお参りも欠かさずしているところです。